

仙人通信 180 百蔵山(1003m)

百蔵山は中央本線猿橋駅の北側で扇山と岩殿山の間位置し、山梨 100 名山・秀麗富岳 12 景で、山梨の桃太郎伝説でも有名な三等三角点の山である。

下和田にある大月市営グラウンドの駐車場に車を置き、西コースから山頂へ登り、隣のコタラ山をピストンして東コースから戻る事にした。

駐車場から 100m 程の地点に百蔵山そして扇山・扇山を示す道標があり、西コースは左側の道に入る。民家の間に設けられた道は、コンクリートで滑り止め溝が 10 cm 間隔で刻まれたかなり険しい勾配だ。15 分程でコンクリートのコースも終わり、杉林の中の登山道だ。更に 5 分程進むと登山者数を把握するカウンターがあり、1 回だけ押せと書かれている(因みに小生は 8543 であった)。左下に瀬音を聞きながら 15 分程進むと沢も終り、その源流部を更に 15 分程で、左手の尾根に向かうコースとなる。太陽光が入るようになり、コウヤボウキや白い花を付けたマツカゼソウが目立ち、気分も明るくなる。5 分登ると尾根で目の前に雪を付けた富士山が眺められる休憩所だ。尾根上を進み僅かに左側に進むと 15 分程で、山頂と葛野部落を示す分岐点である。山頂に向かう尾根は太い赤松林で明るい。足元ではコウヤボウキが満開である。緩やかな登りを 15 分(駐車場から 1 時間 25 分)で山頂だ。

山頂は広く展望も最高だ。富士山を顔に例え、九鬼山・高川山等が桂川を挟み、十二単の様である事から付けられた秀麗富士十二景を眺めることが出来た。ヤマリンドウも開花し、迎えてくれた。南側は道志山塊、その先に丹沢山塊だ。そして林越しではあるが三頭山や雲取山等も確認できた。眼下では、高速道路や桂川、そして落ち着いた山間の家だ。

休憩後、東に 5 分程進むと道標があり、東コースと扇山・コタラ山コースの分岐である。コタラ山(849m)まで 20 分とありピストンする事にした。ブナ・ミズナラ・サクラ・リョウブ等の落葉樹の紅葉が始まり、正面に権現山が右手に扇山を見ながら急勾配を下る。コタラ山は鞍部の先で 50m 程の登りであるも表示を探す事が出来ずに 30 分程進むと、南東方向への下りとなった。見過ごしたと考え戻ると、消えてしまった表示板を発見した。分岐点まで 45 分掛けての戻りとなった。ここから東コースの下山だ。トラロープの張られた下りは、10 分程でやや緩やかな下りとなり、コウヤボウキに混じりソバナの花も発見できた。

やがて左手は檜林となり、15 分程で浄水場の上の舗装された道に出る事ができた。浄水場の下に作られたパターゴルフ場の先から振り返ると、降りてきた百蔵山の全景が望め、眺めながら車に戻った 4 時間(20000 歩)の山旅でした。 (h 30.10. 25)

山頂からの富士

山頂

リンドウ

浄水場先からの百蔵山

